

第 44 号議案

小城市史跡の指定について

このことについて、別紙のとおり提出する。

平成 27 年 2 月 26 日

小城市教育委員会 教育長 今村 統嘉

提案理由

平成 27 年 2 月 9 日付けで別添のとおり小城市文化財保護審議会より答申をうけたので小城市文化財保護条例第 32 条に基づき提出する。

小城市教育委員会告示 号

小城市文化財保護条例(平成17年条例第95号)第32条第1項の
規定により、次の文化財を小城市史跡に指定する。

祥光山星巖寺

平成27年2月26日

小城市教育委員会委員長 山崎良允

平成 27 年 2 月 9 日

小城市教育委員会 様

小城市文化財保護審議会
会 長 岩松 要 輔

小城市史跡の指定について（答申）

平成 26 年 6 月 26 日付け小文第 213 号で諮問を受けた下記については近世小城藩の
成立変遷を知る上で貴重であり、小城市史跡として十分価値を有するものと認められ
ます。

記

文化財名 祥光山星巖寺

管 理 者 星巖寺 代表役員 相浦信哉
小城市

1	種 別	小城市史跡 史第5号
2	名称及び員数	祥光山星巖寺
3	所在地	小城市小城市小町畑田 3111-3、3112、3116-1
4	所有者の氏名及び住所	小城市 小城市三日月町長神田 2312-2 星巖寺 代表役員 相浦信哉 小城市小城市小町畑田 3106
5	文化財の面積	8,877 m ²
6	概 要	

祥光山星巖寺は小城鍋島家の菩提寺である。隠元禪師により承応3(1654)年に中国から日本へ伝えられた黄檗宗の寺院で、大本山萬福寺(京都府宇治市)の末寺である。山号寺名は初代藩主鍋島元茂の法名“祥光院殿月堂善珊大居士”及び二代直能の法名“弘徳院殿星巖元晃大居士”に由来する。二代直能が初代元茂の菩提を弔うため貞享元(1684)年に発願し、三代元武が元禄三(1690)年に潮音道海禪師を開山として建立した。江戸時代末期の指図によると楼門の正面に本堂、左右に禅堂、齋堂が三方を囲むように対照的に配されている。齋堂には廊下で繋がれて鐘突堂があり、齋堂の東には庫裡が控えていた。さらに庫裡から北へ連続する形態で知客寮や方丈等が配され、中坪を隔てた大方丈の北には藩主の御成りの際の部屋であろう御居間があった。本堂の後方、伽藍中軸線上には回廊の奥に歴代藩主(三代元武・六代直員・九代直堯を除く)の位牌を収める報恩堂があり、回廊の西の突き当りには当寺開山の潮音道海禪師を祀る東向の開山堂が描かれる。なお、五百羅漢像は江戸時代後期の小城郡北郷図によると鐘突堂の辺りに配置されており、現存する羅漢像は明治時代に墓所の南側に移されたと思われる。後に鐘突堂も開山堂の南へ移設されたと思われる。これらの建物や本堂の基壇は昭和の中頃まで部分的に遺存していた。現在は境内に楼門(佐賀県重要文化財)、報恩堂、回廊、五百羅漢像(小城市重要文化財)、歴代住職墓碑等が遺存しており、江戸時代の景観を残している。参道の終着部に当たる墓所(小城市史跡)には歴代藩主の墓碑や御霊屋(佐賀県重要文化財)が整然と祀られている。

三代元武・六代直員・九代直堯の墓碑、位牌は小城市三日月町岡本の玉毫寺にあり、平成20(2008)年2月1日に「肥前小城藩主鍋島家墓所 玉毫寺」として小城市史跡に指定されている。

7 審議会の意見

祥光山星巖寺は小城鍋島家の菩提寺として歴史的に重要な場所であり、近世以降の小城の成り立ちを知るうえで極めて貴重である。小城市の史跡として十分価値があると認められる。今後の史跡保存と情報発信について取り組むべきである。

8 その他参考となるべき事項

開山堂に安置されていた潮音和尚像、星巖寺歴代住職位牌や仮安置されていた星巖寺本尊釈迦如来像や華光菩薩像、木額「獅子林」は平成 24 年 9 月 26 日に真照寺本堂へ移設されている。

開山堂は昭和 30 年代に建て替えられている。

- 昭和 40 (1965) 年 7 月 23 日 「星巖寺楼門」佐賀県重要文化財 (建造物)
平成 20 (2008) 年 2 月 6 日 「星巖寺楼門 附 棟札二枚」佐賀県重要文化財追加指定
平成元 (1989) 年 3 月 7 日 「石造五百羅漢像」小城市重要文化財 (彫刻)
平成 6 (1994) 年 3 月 17 日 「肥前小城藩主鍋島家墓所 星巖寺」小城市史跡
平成 19 (2007) 年 3 月 14 日 「星巖寺御霊屋 1 棟」佐賀県重要文化財 (建造物)

参考文献

- 『小城町史』(1974)小城町史編集委員会 小城町
『祥光山星巖寺』(1991)小城町文化財調査報告書第九集 小城町教育委員会
『星巖寺楼門保存修理工事報告書』(1991)財団法人文化財建造物保存技術協会 小城町
『黄檗僧と鍋島家の人々 小城の潮音・梅嶺の活躍』(2008)井上敏幸 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
『小城歴史読本』(2012)小城郷土史研究会 小城市教育委員会